

特集
2「あおぞら」のような
明るく おだやかな人生をともに

10月1日（火）から、「あおぞら」という通称名を用いて、高齢者の皆さまの生活を支援していきます。

なお、地域包括支援センターという名称は、正式名称として、これまでどおり併用します。

町では、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気で安心して暮らしていけるように、介護・医療・福祉など様々な面から総合的に支援するため地域包括支援センターを平成18年から設置しています。

今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれます。

そのため、ますます地域包括支援センターの果たす役割は重要となります。その役割を高齢者や高齢者を支える方々に広く知っていただくため、高齢者支援の窓口であることが分かりやすく、親しみやすい通称名を募集したところ、たくさんのご応募を頂きました。

この度、審査の結果、豊山町地域包括支援センターの通称名を決定いたしましたので、お知らせします。

『あおぞら』に決まりました
地域包括支援センターの「通称名」が

通称名募集概要

- (1) 募集期間：令和元年7月1日から7月31日まで
- (2) 応募総数50件

選考方法

8月8日（木）、学識経験者や町の福祉関係団体の代表者、一般公募より選出された方などにより構成される豊山町地域包括支援センター運営協議会を開催し、審査しました。

選考結果

「あおぞら」

・応募者名

・広瀬里美さん・広瀬光さん

・応募者がこの通称名とした理由

豊山町は空の町でもあることから「空」、高齢者の方の生活がどなたにとっても明るく温和であるように「青空」をイメージし、地域の高齢者の方にとって親しみやすく、覚えやすい名前をと、考えました。

地域包括支援センターの紹介

センターには保健師、社会福祉士、介護支援専門員が配置され、それぞれの専門性を生かし、介護や医療、福祉など様々な相談に応じています。電話や来所による相談のほか、ご自宅へ訪問しますので、お気軽にご相談ください。

また、介護予防教室を開催したり、民生委員・老人クラブ・ボランティア団体などの地域組織団体や医療・介護関係機関など他の関係機関と連携を図りながら、地域包括ケアシステムの構築を進めています。



保健センターと同じ建物です